

# 吉野ヶ里町の男女共同参画をとりまく現状

## ．吉野ヶ里町の男女共同参画をとりまく現状

### 人口（P58～61 参照）

---

- ・人口は増加傾向です。平成 2 年から平成 17 年までの 15 年間で、女性人口は 162 人、男性人口は 260 人、人口総数は 422 人の増加です。性比では、女性のほうが多い傾向が続いています。
- ・年齢 3 区分別では、老年人口（65 歳以上）の構成比の増加、年少人口（1～14 歳）の構成比の減少が続いており、少子高齢化が進行しています。佐賀県の年齢構成比と比較すると、本町の方が、年少人口（1～14 歳）の割合が高く、老年人口（65 歳以上）の割合が低くなっています。

### 出生の動向（P62 参照）

---

- ・出生数は、佐賀県の値は横ばいですが、本町は平成 18 年から平成 20 年にかけて減少傾向です。

### 婚姻の動向（P63 参照）

---

- ・婚姻件数、離婚件数とも平成 18 年から平成 20 年にかけて減少しており、婚姻件数は減少傾向が大きくなっています。
- ・平成 17 年の未婚率は、男性 31.8%、女性 24.6%と、男性の方が高くなっています。佐賀県と比較して、男女とも、未婚率が高くなっています。

### 世帯の動向（P64～66 参照）

---

- ・平成 18 年から、平成 21 年にかけて、総世帯数は増加傾向にありますが、平均世帯人員は減少傾向にあります。世帯分離等によるものと推察されます。
- ・平成 12 年と平成 17 年を比較すると、18 歳未満児童のいる世帯数の割合は減少していますが、佐賀県と比較すると、18 歳未満児童のいる世帯数の割合は高くなっています。
- ・母子世帯が父子世帯に比べて多く、平成 12 年と平成 17 年の比較では、母子世帯数、父子世帯数ともに増加しています。

### 女性の就労状況（P67～69 参照）

---

- ・15 歳以上のすべての年齢層において、女性の就業率は男性に比べて低くなっています。
- ・女性の結婚、出産が多くなっていると思われる 25 歳から 49 歳にかけて、就業率が低く、グラフが谷を描いています。佐賀県の 15 歳以上の女性の就業率と比べると、本町の女性の方が就業率が低くなっています。
- ・産業別就労者数をみると、管理的職業、保安業、運輸・通信業において、特に女性の割合が低くなっています。
- ・就業上の地位をみると、臨時雇用、家族従業者、家庭内職者における女性の割合が高くなっています。

### 女性の方針決定の場への参画（P70 参照）

---

- ・首長、自治会長、議員に関して、現在女性はいません。
- ・審議会・委員会等への女性の登用率は、吉野ヶ里町が総合計画に掲げた目標の 30%と比較して低い割合となっています。
- ・町における管理職総数（課長級以上）は現在 25 名のうち、女性は 2 名です。